



本シリーズは、次頁の季節の野の花シリーズともども初回よりずっと、弊社代表取締役の播磨屋助次郎が執筆しています。各々のバックナンバーはホームページでご覧頂けます。

## 不戦の誓い

安らかに眠ってください

過ちはくり返しませぬから

広島原爆死没者慰霊碑に刻まれた一文です。

終戦記念日とお盆の先祖供養のイメージが重なって、この国の夏は毎年、鎮魂と不戦の誓いを新たに  
する厭戦ムード一色に塗りつぶされます。

よもの海みなはらからと思ふ世に

など波風のたちさわぐらむ

戦争の哀しさを詠われた明治天皇の御歌です。

そしてこれはまた大方の日本人の、いえ人間誰しもの正直な思いでもあるはず。生まれつき殺し合いが好きな人間などいるはずがないからです。

しかしながら実際の人類史は、血塗られた悲惨極まりない、正に戦争の歴史そのものです。

なぜだか分かりますか。答えは簡単です。互いに優劣競争し合うからです。優劣競争にはゴールがないので必然的にどんどんエスカレートし、最終的には必ず戦争にまで発展してしまふのです。

従って本当の不戦の誓いは、競争（特に金儲け競争）の全面中止を宣誓しなければ無意味なのです。

ところでみなさん、実はこの日本がそんな本当の不戦の誓いを全世界に宣誓する日が、刻々と近づいているのですよ。日本バンザイ！人間バンザイ！



広島原爆死没者慰霊碑と原爆ドーム

## シリーズ 季節の野の花

No.35

### もみじあおい

北アメリカ原産で、しかも日本渡来は明治末期といえますから、これはもう純然たる洋花です。しかし不思議なことに、私の和の感性を強くくすぐるのです。派手そうに見えてその実、どこか品のある貴婦人のような風情を備えているからでしょうか。そういえばこの花、高名な日本画家がけっこう日本画のモチーフにしています。弊社生野総本店の来客用園路の脇にも群生させています。八月が花の盛りです。ご来店の際、ぜひお目に止めてみてください。



### おどりこそう

日本全国どこでも見られる、非常にポピュラーな野の花です。私も子供時分から慣れ親しんだ花で、花弁を次々に抜き取って、そのかすかに甘い蜜を吸って遊んだものでした。しかしその名前を知ったのは、播磨屋本店を創業して店の飾り花を自分で入れるようになってからのことでした。花名の由来は、その一つ一つの小さな花が、笠をかぶって踊っている人の姿に似ているからとか。いつごろ、どんな粋人が名付けたのでしょうか。興味深々の私です。

